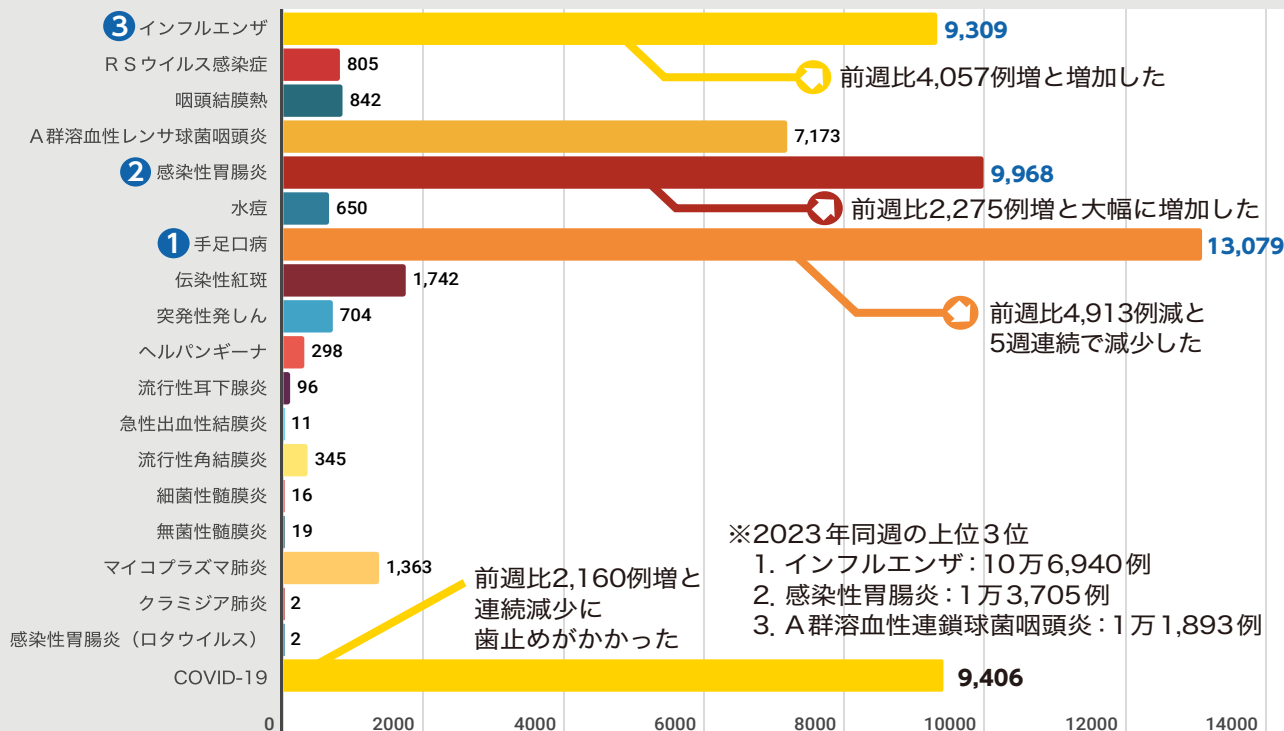




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフルとコロナ、大幅増加で9,000例台に

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①手足口病

報告数

1. 東京都: 1,113例
2. 埼玉県: 949例
3. 千葉県: 874例

定点当たりの報告数(4.17)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 宮城県: 9.39 | 4. 山形県: 7.43 | 7. 宮城県: 6.84 | 10. 新潟県: 6.38 |
| 2. 鹿児島県: 8.94 | 5. 愛媛県: 7.22 | 8. 沖縄県: 6.66 | 11. 長野県: 6.24 |
| 3. 岩手県: 8.18 | 6. 千葉県: 6.94 | 9. 熊本県: 6.43 | 12. 福島県: 6.24 |

※その他、9県が警報基準値(5.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 971例
2. 大阪府: 678例
3. 神奈川県: 630例

定点当たりの報告数(3.18)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 8.64 | 4. 石川県: 4.86 | 7. 鳥取県: 4.58 | 10. 福井県: 4.20 |
| 2. 熊本県: 5.69 | 5. 山形県: 4.75 | 8. 福岡県: 4.50 | 11. 三重県: 4.13 |
| 3. 徳島県: 5.09 | 6. 宮城県: 4.72 | 9. 兵庫県: 4.26 | 12. 富山県: 4.07 |

③インフルエンザ

報告数

1. 東京都: 873例
2. 神奈川県: 832例
3. 福岡県: 691例

定点当たりの報告数(1.88)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 5.02 | 4. 千葉県: 3.10 | 7. 福島県: 2.51 | 10. 東京都: 2.09 |
| 2. 福岡県: 3.49 | 5. 長野県: 2.89 | 8. 神奈川県: 2.31 | 11. 愛媛県: 2.03 |
| 3. 山形県: 3.28 | 6. 鳥取県: 2.79 | 9. 埼玉県: 2.15 | 12. 宮城県: 2.00 |

今週の感染症動向

手足口病は5週連続で減少した。今年2度目のピークは去ったが、昨年同週の報告数(2,398例)に比べると5.4倍、過去5年間の平均と比べてもかなり多い状況が続いている。定点当たり報告数では宮城県(9.39)が最多だった。感染性胃腸炎は大幅に増転し、1万例にせまっている。インフルエンザは前週(5,252例)から4,000例超の大幅増加で9,309例となった。定点当たり報告数は沖縄県(5.02)が最多だが、今後、全国で流行拡大が懸念される。マイコプラズマ肺炎は1,363例、定点当たり報告数は2.84と、例年に比べてかなり多い状況が続いている。最多は福井県(8.83)だった。東京都と埼玉県では伝染性紅斑の定点当たり報告数が1.90を超え、警報基準値(2.00)に迫っている。COVID-19は増転し9,000例を超えた。定点当たり報告数は秋田県(6.33)、岩手県(5.57)、北海道(4.75)、青森県(3.60)、福島県(3.18)と北日本で多かった。各感染症の拡大に備え、十分な感染対策を心がけたい。